

photoshop 画像のレタッチ

シワや傷などを消す方法

Photoshop で画像を補正するには幾つかの方法がある。ただし、元画像の状態によって使うツールが異なってくる。

下の画像の様に全体的に何処も似たような色使い質感の場合は、補正したい場所をなげなわツールで囲み

編集メニューの塗りつぶしからコンテンツに応じるを選ぶだけで良い

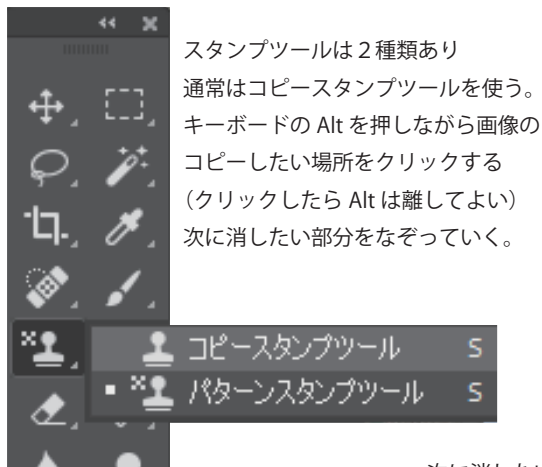


この様に簡単に消えるケースは寧ろ稀で実際には思ったようにならない場合も多い。

そこで

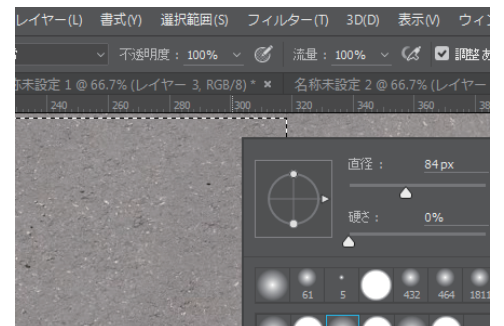
↓
画像を補正するには
様々なツールを使用することになる。

↓
その中で最もシンプルで昔からある
Photoshop のツールでスタンプツールと
いうものがある。
スタンプツールは画像の一部を他の場所に
コピーしながら不要部分を
消すツールである。

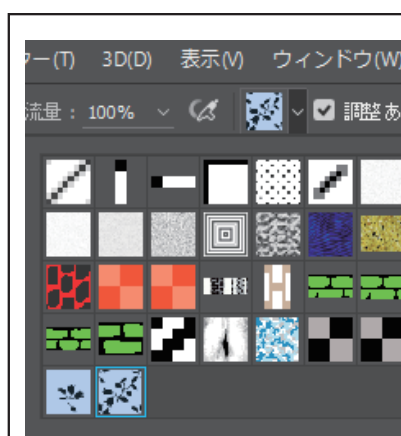


最初に傷の無い部分をクリック

次に消したい部分をクリックしたらそのままなぞる。

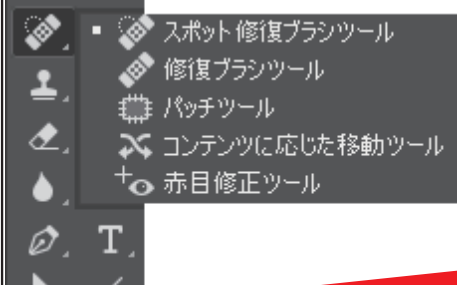


スタンプツールは右クリックでブラシの形状
大きさを変更できる。また不透明度を下げる
ことにより徐々に傷を消していく事ができるので
こちらは好みに調整すると良い

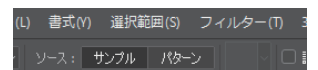


パターンスタンプツールを選ぶと
メニュー場に表示されたパターンで
塗りつぶして行くことが出来る。
何か使いみちがあれば大いに
使って頂きたいと思うが
筆者はパターンスタンプツールの
使いみちの
発見に今の所至っていない。

スタンプツール以外の修復ツールはスポット修復ツール、修復ツールパッチツール等がある。
スポット修復ブラシツールの使用方法は至って簡単で傷等の消したい部分をなぞるだけである。
こちらも右クリックでブラシサイズの変更等行う。またメニューバーに消しかたの種類が
表示されるので消え具合に
合わせて調整すると良い。



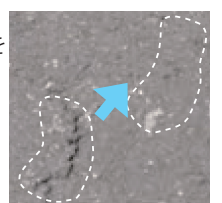
修復ブラシツールはスタンプツールと殆ど同じ使い方である。
メニューバーにソースの種類が表示されるので
サンプルを選ぶ、パターンを選ぶと、パターンスタンプと
殆ど同じ仕様方法であり、
効果も同様だ。



使いやすいのは
スポット修復ブラシとパッチツール！！

コンテンツに応じた移動ツールは
傷の部分と傷のない部分を
入れ替える事が出来るツールだが
あまり使用度は無い様に思われる。

パッチツールは消したい部分を
なげなわツールの様に囲って
そのまま傷のない場所に
移動すればそれだけで傷が
消えるツールである。



赤目補正は写真が赤目に
写ってしまった場合の補正ツールである。